

# HAND in HAND

はんど・いん・はんど

【4人の子のお母さん、頑張ってるね】

■1人の女性が一生の間に産む子どもの数が、ついに1.39となりました。私は1979年からニコニコ離婚講座を主宰してきましたが、それは、女性たちが「女の時代」と言われても、離婚する自由すらない、すなわち結婚して一旦職を失うと、一人で子どもを育てる経済力も持てないといった無力な状態にあることや、法律も年金も社会制度も妻の座に味方していないこと、そして何より、平均寿命も長くなりライフスタイルが変わり、学歴が高くなっても、女性が性別役割分業に閉じこめられて、のびのびと生きられない姿を見て、離婚という切り口から、女性たちと社会に「考え方を変えよう、法制度を変えよう」と訴えたかったからでした。あれから20年、女性たちは生きやすくなったのでしょうか。

■先日、熊本へ選挙の応援に行った折りに、熊本で初めてのハンドの会合を持ちました。8年前に4歳から中学生の4人の子どもを抱えて、夜行列車で東京の合宿に参加してくれた元気なMさんは、ちょっと生活に疲れているように見えました。「あの頃はまだうまくいっていたんです。この8年、余りにもいろんなことがあって…」というMさん。今、差別のひどい準看の仕事を辞め、正規の看護婦になるため、学校に通い始めたそうですが、経済的に持つかどうかと不安そう。看護婦をめざしたのは子どもさんの心理的問題がきっかけだったようですが、女性が必死で頑張ってもなかなか生活にゆとりを持てない。生活の不安があると、母親の心のゆとりがなくなって、子どもを抱きとめる余力がなくなり、小さな問題を悪化させてしまう。そのことで母親はまたストレスをためる。どうもそんな悪循環が多い気がします。

■女性が必死に働いても元気に子どもを育てられるだけの収入を得られる社会でないのは本当に残念です。4人の子を一生懸命育てているMさんが、元気に正看護婦として働く日を祈っています。(円より子)

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

逐次刊行物

10.7.-8 歳

主婦人教育会館

女性センター

181

第181号 600円 禁無断転載

【発行日】1998年7月1日

【発行所】現代家族問題研究所

【連絡先】〒150-0001 東京都

渋谷区神宮前6-34-3-201

TEL & FAX 03-5512-2738

【発行・編集人】円 より子

【スタッフ】向井通江 星野美子

【印刷】(株)日出島

# ドメスティック・バイオレンス

戒能民江氏(東邦学園短期大学教授)

—1998年5月30日ニコニコ離婚講座より—

●日本でも問題化され始めたドメスティック・バイオレンス

私は1992年に、日本で初めてアンケートによるドメスティック・バイオレンスの実態調査をした「夫(恋人)からの暴力」調査研究会のメンバーです。いろいろな女性グループ、女性センター、弁護士等ご協力頂き、800位の回答があり、多くの方がドメスティック・バイオレンスの被害の経験があり、その被害の実態もかなり深刻で、女性に対して大きな影響を与えていることがわかりました。

ドメスティック・バイオレンスはようやく日本でも社会の問題として問題化されてきたところです。5月には東京都の調査結果が報告されましたが、総合的な調査を行って、実態を明らかにし、具体的な施策の方向を検討するということです。国や他の自治体にも調査の動きが広がっていくことを期待しています。

そして、5月13日にNHKの番組で特集されるなど、今年に入ってドメスティック・バイオレンスがマスメディアでも取り上げられるようになってきました。5月16日にはドメスティック・バイオレンスの防止情報センターが関西で発足し、情報提供や様々なサポート、ネットワーク等を中心に活動するということです。

96年12月に政府が、男女共同参画2000年プラン(男女共同参画社会を実現するための日本の行動計画)を出しましたが、その中で初めて、女性に対する暴力の問題が取り上げられました。個人的、私的な問題だとされてきた夫や恋人からの暴力を、社会的施策を必要とするものと最低限位置づけた、大変重要なものです。

●ドメスティック・バイオレンスとは何か  
ドメスティック・バイオレンスは、一部の女性の問題、また一部の

の異常な男性が加害者ではないかとされがちですが、そうではなく、まさに私達自身の問題、女性問題の縮図だと思います。だからこそ政府のプランにも取り上げられていくのだし、世界中の女性達が一生涯懸命に取り組んでいるのです。

バイオレンスは「暴力」、ドメスティックは「家庭内」と訳されていますが、なぜ「家庭内暴力」を使わずに「ドメスティック・バイオレンス」を使うのか、まずお話し致します。日本では、80年代半ばから思春期の子ども、特に男の子が、親に対して振るう暴力を「家庭内暴力」と呼んできた歴史があります。

また「夫婦間暴力」という言葉が使われますが、日本は法律婚、結婚届を出して結婚する人が多い。でも最近はそのでないカップル、事実婚というカップルも出てくる。またボーイフレンドに暴力を振るわれている女子学生も結構多いんです。そういうパートナーの問題が視界に入りません。

70年代から米国を中心に「バタード・ウーマン・ムーブメント」として、暴力の被害を受けた女性達の運動が展開しますが、主張を明



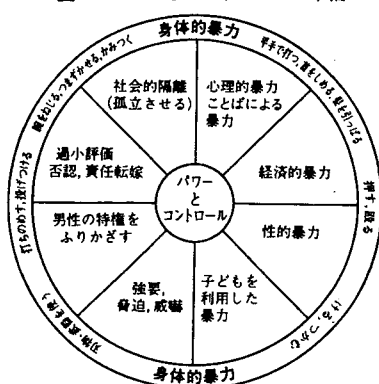
▶戒能民江氏

確に示すために、ファミリー・バイオレンスとか、家庭内暴力という言葉を使わずに、これは自分が女性であるということだけで受ける暴力であり、自分が悪いのではない、あなたが悪いのではないというメッセージを持って、わざわざ意識的に使った言葉なんです。日本でもこういう言葉を当てるのか作り出さなければなりません。今はドメスティック・バイオレンスを使わせて頂きたいと思っています。

ドメスティック・バイオレンスとは何か。男性から女性に対して振るわれる、女性に対する暴力です。女性だということだけが理由なのです。親密な関係にある、或いはあった男性から女性に振るわれる暴力だということです。

●暴力は身体的暴力だけではない  
暴力というと、殴る、蹴る、髪の毛を引っ張るなどが浮かんでき

図1 パワーとコントロールの車輪



ますが、実はそういうものだけではありません。

パワーとコントロールの車輪という図（図1）ですが、これは米国ミネソタ州ドゥルース市の女性達が作ったものを基に、米国と日本と暴力の現れ方が違うところもありますので、作り直したものです。

英国や米国では、70年代の初めから女性たちがこの問題に取り組んできました。最初はこのニコニコ離婚講座と同じように、ロンドンで「離婚困り事相談所」を出したところ、暴力を振るわれていて、帰るところがないという女性たちが、次々に駆け込んできて寝泊まりをした。一ヶ所では足りないのです、次々と作っていったのです。すぐに米国やヨーロッパでも広がり、シ

エルター（避難所）が、米国ではあったという間に1200位作られました。このドゥルース市でも、女性達がシエルターやホットライン（電話相談）を作り、それからリーガルサービス（法的な援助）も含めて、女性たちが草の根で始めていきました。家庭の中には踏み込めないんだと対応しなかった警察に対して、対応すべきだと裁判を起こしました。それを専門家達がバックアップをしていて、警察がきちんと対応するという方向に変わってきた訳です。

パワーとコントロールの車輪のまず外側にあるのが、最も見えやすい身体的暴力ですね。アンケートの回答では、雪の日に裸で出してドアを閉めてしまう、熱湯を耳に入れるなど、様々な暴力が振るわれています。身体的暴力は非常に見えやすくてわかりやすいし、ケガをしたり女性自身も暴力だと認識できます。

その身体的暴力の陰に隠れて見えにくいのですが、外側の輪を支えて回りやすくしているものが、言葉による暴力や、心理的な暴力、経済的暴力です。生活費を渡さない、浪費をするとか、働くことを妨害

するということもあります。それから子どもを利用する。子どもを材料にして脅かしたり、子どもの前で妻を非難中傷したり。そして威嚇、脅迫。逃げたら親を殺すぞと言われる。それから男性の特権を振りかざす。大した暴力は振っていないと、女性の気持ちを過小評価したり、お前のせいだと言う。社会的な隔離や、孤立させることもある。これは実家や友達との付き合いを規制する。夜9時以降、電話一切禁止というケースもありました。社会的な活動、例えばPTA活動で夜も会合がある。「自分より帰りが遅い」と、暴力を振るわれる。ボランティアや、地域活動をする、働くということも暴力の原因になっていきます。

必ずしも身体的な暴力という形で表れていなくても、これは暴力を生み出し、暴力を支えるもので、私達女性の共通の問題が集約されているのではないかと思います。

そしてさらにその外側には、図には書いてありませんが、逃げようと思っても女性が経済的に自立するのが困難なこと。何の社会的対応がないこと。それから女らしさ男らしさという、性別役割分業

の押しつけ。そういうものが外側には張り巡らされていて、この支配と統制、権力の行使をスムーズにさせている構造があります。

#### ●92年の実態調査から

ドメスティック・バイオレンスの加害者と被害者には誰でもなり得ます。特別な人ではありません。強姦神話があると同時に神話がいくつあって、貧困層の問題だ、アル中の問題だ。また女性が暴力的な関係を欲しているというところでもない神話もありました。現実とは全く違って、職業も階層も関係ありません。被害を受けた女性性は専業主婦もいれば、専門職にある人も被害を受けているのです。やはり多くの女性が被害を受けていました。アンケートでは身体的暴力、心理的暴力、性的暴力と3つに分けて見ましたが、回答者の8割が何らかの暴力被害を経験し、3つを全て受けた人が4割以上いました。東京都の調査でも約17%が3つの暴力を全て受けていると答えています。

また暴力は一回だけでは終わらず、継続しています。20年、30年暴力を受け続けてきたという女性。暴力が既に夫との生活の一部にな

っていて、その中から逃げる、違う生活を自分で求めるというパワー自体を削がれてしまっている女性も非常に多いのです。

社会、周囲の対応として「なぜ逃げないの」が必ず出てくる。逆に逃げると、我慢が足りない、あなたにも悪いところがあるんじゃないのと言われる。逃げたくても逃げられない状況にあるんです。

責められるべきは加害者の方です。路上でいきなり殴られて責められるのは殴られた方ですか。それが、家庭の中や、恋人という関係になると通じなくなってしまう。

#### ●安全な生活へ支援の現状と問題点

エコマップ(図2)と呼んでいるのですが、使える資源、対応すべき機関です。各機関の連携は余り進んでいません。地域的に格差があり、大都市や女性の運動の盛んな所はやはり進んでいます。

危険を感じたとき、まず警察があります。けれども「家庭の中には入らない」と、110番しても来ない、或いは夫に「夫婦の問題ですから」と言われたら帰ってしまう。米国やカナダでは警察官がシエルターまで安全に送る義務が

あります。最近、日本でも各道府県警に犯罪被害者対策室が設置され、東京都は警視庁ですが、相談を受けることになっています。警察署でも、被害の状況によっては一時的な保護も可能です。危険なときは110番通報をして、保護を求めてほしいと思います。何回もすれば警察に記録が残るわけですから、警察がきちんと対応するための材料ができることになります。

ケガをして病院にまず行くという場合も多いと思いますが、診断書は必ずとって置いて頂きたいと思います。都立病院では、医療ソーシャルワーカーのいる医療相談室を作ったところもあります。

医療で実際に困るのが健康保険証です。もし逃げるときは健康保険証がコピーを持って出る。でもそれを使うとどこにいたかわかってしまうので使えず、お金がかかってしまいます。米国では公立の病院が公費から負担しています。

最大の問題は仕事。子どもと生活できるだけの給料をもらえる働き口がどれだけあるか。パートを複数掛け持ちしてやっと暮らしていけるという現状です。社会保障

に児童扶養手当や、生活保護がありますが、児童扶養手当は遺棄されて1年経過後でないと出ないので、家を出てすぐの本当に必要な時には出ないという問題があります。現在、事実上公的シエルターの役割を果たしているのが、婦人相談所や母子寮の一時保護です。東京都女性相談センターが、新宿と立川にあります。お金も何もなくても駆け込めばいい。

#### ●ドメスティック・バイオレンスをなくしていくために

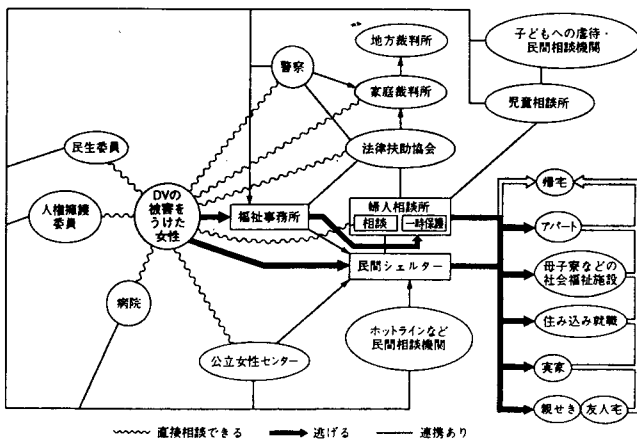
私達には、どんな人でも安全に生きる権利があります。そして夫や恋人、男友達からの暴力もやはり暴力です。女性の人権を侵害しているのです。身体的な暴力だけではなく、私達が嫌だと言うことを大事にしたい。誰がやろうと傷つくことは傷つくのです。

また、個人的なこととして、社会が放置してはいけないうこと。そして、逃げるか逃げないかどうするかは、女性が自ら決めること。そしてそれをサポートするのが社会の役割なのです。そのサポートのところが、今はほとん

どないという状況です。

今政府が、男女共同参画審議会などで女性に対する暴力を審議していますが、時間がかかるそうです。現に、問題が起きていて、社会がきちんと対応しないといけない状況にあるんだと位置づけて、対応を急がなければならないと思います。この背景には、女性差別の社会が根底にあり、そういう社会を変えていく動きでもある訳です。女性一人一人が尊重されない社会だということを痛感致します。

図2 ドメスティック・バイオレンスの援助システム



## ◆国内民間女性シェルターと相談機関リスト◆

※Sは、シェルター（女性のための一時避難施設）をもつ団体です。

名 称	電話番号	相談時間
S: 女のスペースおん	011-622-6404 011-622-7240	10時～17時（月～金）（相談 予約専用）
S: ウィメンズネット旭川	0166-24-1388	19時～21時（月）／13時～ 16時（水）
S: ネット・マサカーネ	050-287-5206	10時～16時（月・水）
S: 駆け込みシェルター・帯広	0155-26-3134	電話相談 13時～15時（第 1・第3土曜）
女性の悩みホットライン	022-225-8801	18時30分～21時（第1火曜 日）
S: 女のスペース・いがた	025-231-3012	19時～21時（月・水・金）／ 14時～17時（火・木・土）
S: ウィメンズハウスとちぎ	020-650-2618	電話相談 9時～12時（第3 水曜日）
S: FTC シェルター	03-5608-0127	
S: 女性の家HELP	03-3368-8855	電話相談 10時～17時（月 ～土）
S: フレンドシップ・アジアハウスこすも す【アジア人母子】	0438-53-5105	
S: AKK 女性シェルター	03-3828-1608	電話相談 10時～16時（月・ 水・木・金）19時～21時（水） ※曜日は変更になることがあ ります
女のホットライン	0422-71-0091	電話相談 19時～22時（金 曜日）
東京・強姦救済センター	03-3207-3692	電話相談 18時～21時（水 曜日）／15時～18時（土曜 日）
SARA 性暴力被害者サポートライン	03-3312-7751	電話相談 18時～21時（第 1・3木曜）／13時～18時（土 曜日）

名 称	電話番号	相談時間
女のアクセスライン ウィズコウ	03-3641-7883	電話相談 14時～16時／18 時～20時（水曜日）
S: 社会福祉法人礼拝会ミカエラ寮	045-251-4625	
S: かながわ・女のスペース “みすら”	045-451-0740	電話相談 14時～17時（月 ～土）／19時～21時（月～ 金）
S: 女性の家サラー 【外国人女性専用】	045-901-3527	電話相談 11時～17時（タ イ語英語／月～金）（スペイン 語／月・水・金）
S: かけこみ女性センター・あいち	052-883-1472	電話相談 13時～16時（月 曜日）
性暴力を許さない女の会	06-322-2313	電話相談 19時～21時（火 曜日）
S: スペース・えんじょ	0726-36-0030	
ウィメンズネット・こうべ	078-360-6202	電話相談 10時～16時（金 曜日）
女性への暴力ホットライン	092-725-7497	電話相談 19時～21時（水 曜日）
強姦救済センター・沖縄（REIKO）	098-890-6110	電話相談 19時～22時（水 曜日）／15時～18時（土曜 日）
〈その他電話相談〉		
オープンハウス	03-3235-2638	思春期の性の悩み 10時～ 16時（月～金）
	03-3269-7700	避妊とエイズ相談 10時～ 16時（月～金）
こどもの虐待110番（子どもの虐待セン ター）	03-5374-2990	10時～17時（月～金）／10 時～13時（土曜日）
子どもの虐待ホットライン（児童虐待防 止協会）	06-762-0088	11時～17時（月～金）
子どもの人権110番（東京弁護士会・子 どもの人権と少年法に関する委員会）	03-3503-0110	13時30分～16時30分（月～ 金）
『男』の悩みのホットライン	06-945-0252	19時～21時（第1、3月曜日）

※図、資料共に「ドメスティック・バイオレンス」夫（恋人）からの暴力調査研究会著（有斐閣選書）より

**A** 5年別居を離婚原因とする内容の民法改正案は、昨年国会に提出されず廃案となりました。ところが新聞等で繰り返し報道されたせいか、民法が変わったと誤解している人を多々見かけます。法律は改正されていないので従来と変わりはありません。但し、従来より判例では、例え離婚を求めた責任がある場合でも、おおむね7年以上の別居が継続し、夫婦に未成熟子（未成年でも仕事をして社会

**Q** 結婚して15年目で、夫は会社員、私は専業主婦で、子どもは小学生と中学生です。これまで平穏に生活してきたのですが、夫が突然離婚してくれと言いました。私には全く寝耳に水の話で納得できず追及したところ、実は好きな女性がいて離婚してその人と結婚したいと言ったのです。夫は、「離婚に応じなくても別居して5年経てば離婚できる。応じないのなら生活費も送らない」と開き直ります。そんなことが認められるのでしょうか。また夫が交際を続ける場合、相手の女性に何か請求できるのでしょうか。

## ◆弁護士110番◆

他方で相手の女性に対しては、交際が原因で夫婦関係が破綻した場合は、慰謝料の請求ができます。夫婦の間には互いに他の異性と関係を持たないという義務があり、これに反する行為は不法行為とみなされ、交際相手も共同不法行為者とみなされるからです。但し、あなたが夫を許したような場合は、交際相手のみに請求することは認められない場合もあります。

06-1364-0269  
弁護士 段林和江

## Time Flies

## 初代大阪ハンド世話役

(50歳)さん

私と円さんの出会いは、1982年に大阪の新聞にニコニコ離婚講座が紹介された時に始まります。

当時は離婚をニコニコと語るなど言語道断と思われる時代でしたから、すごい人がいるなと感動し、東京出張スケジュールを調整して円さんの事務所を訪問。7月7日の円さんの大阪講演を機に、大阪で初めてのハンド会合を開き、有志を募り大阪支部をスタートしました。その後、アドバイザーとして、松尾さん、竹川さんという有能な弁護士を得て離婚講座も始め、活動が今日まで続けられています。

松尾さんにお願ひするようにしたのは毎日新聞のインタビュ記事がきっかけで、記事読後、彼女との面談の予約。彼女と会えるまで少し時間がかかりましたが、主旨を理解すると直ちに協力を承。竹川さんの協力も取り付けて下さるなど、大阪の離婚講座の礎を築いて下さいました。

84年に仕事と子ども達の自由の森学園入学のために東京に引っ越したことで、大阪の活動からは遠退きました。会報で発展ぶりを拝見して喜ばれました。松尾さんの計報を米国で聞いた時はおんおん泣いてしまいました。一緒に大阪支部の開設に走り回ってくれた細谷さんにも心から感謝しています。

高校卒業後、慌ただしく家庭生活に入り子どもを2人持ち、離婚に踏み切り、職業人として子どもを成人させるまでの間、時間は超特急で過ぎていきました。幸い米国の政府関係の仕事に関わっていたので、日本国内と米国の飛び回り、たくさんの人と出会って、楽しみながら職業人としての経験を積み上げることができました。

しかし、キャリアを積んでも自分の未熟さがはっきりすることが多く、腰を据えて勉強したいと思う気持ちは募るばかり。けれど日本では45歳の高卒だけの人間が好きな勉強をしようと探しても、入学できる大学はありませんでした。

そこで外国に行くしかない決意したのが、92年の12月。まず、学資の要らないスウェーデンをチェックして応募。翌春4月に、検分

の為10日間滞在しました。結果、寒くて4年以上を健康に過ごすことが困難と見極め、この国は断念。5月初めに、カリフォルニア州政府事務所長を務めた後帰国していた友人のジムに、外国人で年齢も高い私の米国の大学入学の可能性について打診。折り返し、言葉のハンディを考慮に入れた大学の情報を持ち込んだ返事が届きました。

8月の新学期に向け、仕事の後始末と渡米の準備に大わらわの2か月が、あつと言う間に過ぎました。8月1日成田を立ち、同日正午にサクラメント空港の地を踏み、4年半の大学生としての生活が始まりました。

初めの半年は大変でした。まず、生活に必要な雑務、入学登録、社会保険番号登録、自動車免許取得、アパート探し、車の購入、保険等々、する事が山積みでした。学校では何百とあるクラスの中から必要なものを選択したり、そのアドバイスをしてもらうカウンセラー選びまで自分でやらなければいけません。一学期(12週間)に3クラスを取り、それぞれ2、3回のテストとリサーチペーパーをこなすのは米国人でも大変な量で

▲93年12月、米国で初めてのクリスマス。入るのは簡単ですが、卒業は本当に大変でした。また、とにかく意思表示と自己表現を怠ると置いてけぼりになってしまいます。このことは明治生まれの祖父に育てられた(謙虚な?)私には、大きなカルチャーショックでした。

今春3月の卒業までの間に、娘の結婚、母の渡米、息子との大学中退、就職、娘の出産、私の交通事故故と本当に盛りだくさんの出来事がありました。Time Flies(光陰矢の如し)。時間が飛ぶと言うこのフレーズは、本当に楽しい時間を過ごしたという時に使うといふと教えてくれたのは、ベストフレンドのジムですが、まさしくTime Flies.の4年半でした。

これから仕事探し、住まい探しとまた新たなチャレンジが待ち受けていますが、この後もTime Flies.の人生を送れたらと思います。





## 地方の会合紹介

### ハンド大阪のピクニック報告

ハンド大阪では毎年5月4日にピクニックを行っています。今年は大阪市の花博記念公園鶴見緑地でしたが、神戸、奈良など関西各地に行っていて、大阪府下だけでなく、兵庫、京都、奈良方面の方が集まってきました。

鶴見緑地は90年に開催された「国際花と緑の博覧会」の跡地です。大阪市内というのに緑がたくさんある所です。広場もあちこちにあり、手軽に自然と親しめる所なので市民に人気のスポットです。

今回は現地に11時集合。大人15名、子ども10名、幼児組、小学生組、女性1名でいろいろな年齢層の方が参加されました。

お弁当を食べる所を見つけて休憩です。幼児組は親子で出かけるのは大変な時期、またゴールデンウィークには、父親が家族サービスをすることになっている日本では、幼児と母親だけで出かけるのはすごく寂しい気分になります。

ですから、グループでの行動は、寂しさも忘れさせてくれます。

小学生組は顔見知りほとんどだったので、子どもは子ども、親は親で話弾んでいました。一人で参加の方も、仲間がいないところな所に来られないとおっしゃっていました。

昼からはグループに別れて行動しましたが「咲くやこの花館」という温室で合流し、熱帯から極地圏まで、地球上の様々な気候条件の下に生育する植物を見学しました。パニラの枝を振ってみるとパニラの香りがしたり、子ども達も喜んでいました。

初夏のような春の一日でした。また来年もどこかへ行こうと口々に言い、家路に着きました。



### ハンド香川の会の活動報告

私自身は離婚して7年。自分のことしか考える余裕のなかった最も苦しい時期に、会報や円さんの本に随分と助けられました。

5年前、新聞へ「離婚願末記」を連載したことで、気持ちが整理でき、香川の世話係を申し込みました。離婚の悩みをありのままに打ち明けられる場が必要だと思ったのと、弱い立場に立つ当事者が、バラバラにならず声を上げ、世の中の仕組みや偏見を変えていくことの大切さを痛感したからです。

現在、四国の会員は26名、香川の会員は9名ですが、数人の方から連絡があるものの、ほとんど開店休業状態です。プライバシーに関わるので、会員の氏名や連絡先を尋ねる等の積極的な働きかけもしていません。松山のさん(四国の世話係)が中心になっ

て、四国の会員同士、高松市の栗林公園で会合を開いたり、交換ノートを送り合ったりすることがあるのですが、私には情報は回ってきませんでした。交換ノートは二度行方不明になったと聞いています。

地方の世話係の方と話す、共

通の困難を抱えていることがわかります。それは「離婚に悩む人達の会」の会員であることが、知り合いに漏れては都合の悪い人がいることです。地方では「友達の友達は友達だった」ということがままある上に、離婚に対する偏見もまだまだかなり強いのです。そのため、知り合いに会う可能性の低い、東京や大阪の会合に参加する方もいます。3月から2か月に1回のペースで定例会を開くようにしていますが、そんな訳で参加状況は低調です。

離婚の問題は中身がそれぞれ異なります。グループでの会合より1対1のカウンセリングのような形を望む方もいれば、会報を読むだけで十分な方もいるでしょう。幸せになった方の話で傷つく方もいれば、希望を持つ方もいます。それだけ会合の持ち方が難しいと言えます。

今のところカウンセラーも弁護士もついていない香川の会合を、今後どういう形で続けていけば良いのか、お知恵をお貸し下さい。

世話係 までぜひご連絡下さい。

# 家計簿公開



第116回 神奈川県 Mさん

〔家族構成〕

私 46歳（大学臨時職員）

長男 21歳（大学3年※現在他

県に下宿中）

次男 17歳（私立高校3年）

〔住居〕

戸建（元夫名義、5LDK）

★

昨年5月に調停離婚、当時息子は高2と大2でした。見合い結婚22年半の結婚生活で心安らかな時は1日たりともありませんでした。世間体と社会的体面のみで結婚した（と後にわかった）相手とは、一言で言えば性格の不一致で、私から調停を申し立て、約1年、8回の調停で終止符を打ちました。

息子二人が成長する過程で一切関わらず、私一人で母性と父性を担ってきました。相手の手助けは、当てるだけ落胆が大きいため期待しなくなっていました。父親がいないのに如く無視して過ごすことが、息子達の人形成にどう影響するかが一番心配でし

た。しかも、私が彼を悪く言うため、息子が彼を嫌うという事実無根の理屈を調停でも述べ、父、夫として関わらなかつたことを棚に上げ責任転嫁をするのです。

精一杯明るく、苦しくても行動的に育てた甲斐あって、息子達は早く別れて私の人生を大切にするようにと勧めるほどになりました。5年前に離婚110番で相談した時、私がどうしたいかを最優先し、一歩ずつ前進していくようにと助言を頂き勇気づけられました。先日の記念シンポジウムでも、離婚は人生の一つの通過点に過ぎないとお話しがありましたが、たった一度の人生ですすから悔いのないように生きたいと思えます。せめて息子が就職をするまでとかいろいろ言われますが、18歳までしっかり愛情を注いだら、後は彼らの人生です。

私が言い出した離婚なので、相手は金銭面でも当方の要求とはかけ離れた額を提示しました。婚姻時の生活費は、家のローンや光熱費を取ったら学費も出ないほどしか入金されなかつたので、離婚後特に経済状態が悪化した感はありません。調停中からより高収入の

仕事を探し10月に転職、家は売却を拒否されたため、次男の高校卒業まで今の環境を維持することを希望し、来年3月末まで今の家に住むことを認めてもらい、家賃がかからないので何とか生活ができています。

他県で下宿している長男は、国立なので学費も貯金で何とかなり、生活費の不足分は本人がアルバイトをしています。次男の親権者は私ですが、体裁上会社の保険から息子は抜かない、住民票も短期なので移さない主張され、児童扶養手当の申請に支障がありました。父として快く、公的援助を受けられるような条件を整えてくれたら、気分が随分違ったと思います。調停委員は、成人したら養育費

も払わない人もいるのだから、月8万円（長男）と2万でも払われることを感謝すべきだと言いました。養育費は私の損得ではなく、父の子に対する義務だと思うのです。

当然、老後の不安等ありますが、形だけの不自由な家庭を維持していた無駄なエネルギーが不要となり、次男と二人、束の間の平安を味わっています。

未だに会社から「部長をお願いします」と電話がかかるので、彼が会社で離婚を隠していることが想像できます。

来年3月以降のことは、次男の進学の見処につき次第決めるつもりです。不安ですが、ケ・セラ・セラ！

## 家計簿内訳 (1998年2月分)

### 〔収入〕

給与	145,500円
児童扶養手当	41,390円
児童福祉手当	6,000円
私学助成金	5,000円
養育費	20,000円
計	217,890円

### 〔支出〕

光熱費	24,341円
電話通信費	7,738円
水道料金	1,612円
高校授業料	46,800円
塾月謝	22,000円
次男小遣い	8,000円
郵便局学資保険	19,800円
全労済	2,000円
国民健康保険	1,300円
新聞代	4,895円
牛乳代（カルパワー）	5,820円
長男へ送金	20,000円
食費	40,000円
雑費	13,584円
計	217,890円

※父親から長男へ8万円送金あり。



ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどんどんお寄せください。

■今からが始まりだと前向きに

Y・O (三重・28歳)

離婚して1年経ちました。離婚は私からの申し立てでした。夫の暴力、性的なサディスティック、普段はおとなしい人だけに、一つ間違うとそれは病的なものでした。私さえ我慢すれば…と思い、誰にも話せませんでした。そして、私は自律神経失調症、鬱、自殺未遂と、本当に心の病気でした。

自分から望んだ離婚でしたが、やはりダメージは大きく、1か月間は生きているのがやっという感じで、2か月を過ぎた頃からは、今度は子どもを片親にしてしまったという葛藤から鬱がひどくなりました。それからどうにか乗り越えられるようになったのは、半年後位です。1年後の今、鬱状態も軽くなり、前向きに少しずついいから強くなりたいと、絶対に病気に勝つてやると明るくなってきているなあと思います。

と言えるのも、神経がどんだった時からずっと変わらぬ態度で

接し、励まし、支えてくれた男性の存在があるからです。今は私にとっても、私の2人の息子達(5歳と4歳)にとってもすごく大切な存在です。彼は14歳年上ですが、子ども達優先につきあってくれ、愛情を持って可愛がってくれます。

当分は結婚に拘らず、いつか一緒に暮らせたらと話していますが、私の両親は再婚に反対しています。理由は第一に孫のこと、そして経済的なこと。現在お互いに両親と同居していて、彼は長男で、私も跡継ぎのような感じで、前夫にも私の田舎に来てもらったのです。以前の結婚は親・家のためにしたのです。結果、逆に親に迷惑をかけてしまいました。今度結婚するときは、反対を押し切っても一緒にになりたいと思えるような人と結婚するんだと、でないと自分の人生に後悔するように思います。

反対されて終わりにしない、皆が幸せになれるように、今からが始まりだと思えるほど前向きになってきた私です。

■いとこの結婚式に気が重いです

(奈良・31歳)

母方のいとこの結婚式に出席しましたが、できればもう行きたくないと思いました。

私は旧姓に戻り、5歳の息子がいますが、親戚紹介の時や、子どもの名前を呼ばれる時など、気を使いました。パツイチが珍しくなくなってきたとはいっても、親戚の中では私だけです。いとこの側のことを考えると、紹介したくない不都合な存在かな、迷惑をかけているのかな、私だけ落ちこぼれやなあなどと思ってしまうました。

子連れで、旧姓に戻した人は親戚の結婚式などはどうしているのでしょうか。また、1か月後にいとこの結婚式がありますが、今から気分が重いです。

■人生をもう一度頑張ろう

K・K (東京・35歳)

離婚して3年、35歳の2児の母です。離婚して実家に戻った頃家の建て替えの話が出ていて、今年の3月に新居ができました。1階に母と私達親子3人、2階に兄の家、5人が住んでいます。兄嫁もとても良くしてくれて、私はとても恵まれた環境にいると思います。

会報で呼び掛けのあった人達と渋谷でお会いしました。何か良い

会の名前があったらと言われましたが、小4の長女に話したら「もう一度がんばろう会」と名付けました。笑っちゃいましたが、結婚だけでなく人生そのものをもう一度頑張ろうと思っています。

■女性基本法に期待を抱きます

T・I (東京・?歳)

離婚講座200回を迎えられ、これまでどれほどの努力とエネルギーとチームワークの集結であったのかと頭の下がる思いです。

日本社会がいかに男性中心で、女性には不当な差別によって基本的に生きていく権利さえ満足に保障されていないことを実感しています。女性基本法には少なからぬ期待を抱いています。FAXによる意見も安くてすぐ送れるので大変良いアイデアだと思います。

■矛盾を感じます

M・Y (大阪・43歳)

調停離婚をして3年半経ちました。小学校教師の母子家庭は、福祉面では全く関係がありません。税金も高額ですし、娘の高校進学のための奨学金も、年収が基準以上で認めてもらえません。

金銭的に不自由しないのは良いことですが、何か矛盾を感じます。

■ハンドを支えに乗り切ります

Y・H (東京・?歳)

昨年の8月に別居し、円さんの本を読み、ハンドに入り、3月のシンポジウムにすぎるような気持ちで参加させて頂きました。

私は今の状況を家族以外には話していないので、29日の集会では、本当に半年ぶり位に人と話しかけたという感じでした。「別居している時は一番辛いかも」「調停に行くときは勉強して行った方がいい」「無理してでも一日一回は笑っている」など、暖かい言葉をたくさん頂きました。また社宅だったため夜逃げ同然のように子どもと突然出てきてしまい、いつも仮面をかぶって外に出ていたので、本当に普通の会話をして頂いてとても嬉しかったです。

4月9日に第2回の調停なのですが、相手方と子どもとの面接も長女と次女が5歳と1歳9か月ということもあり、今後どうしたらいいのか、住居のこと、仕事のことなど決めなければならぬことが山積みです。ハンドを心の支えとして乗り切っていこうと思います。

お便り・お電話下さい

■札幌に来る方お泊まり下さい

(北海道・?歳)

皆さんお元気ですか。札幌はこれから良い季節となります。マンションの一室ですが、一泊1000円で、お泊まり下さい。

☎

■お便りお待ちしております

A・T (千葉・36歳)

価値観の相違は感じていましたが、夫の女性問題をきっかけに離婚を切り出され、言葉の暴力に耐えかねて、2歳になる娘と二人実家に帰ってきました。

離婚し、田舎の生活にも慣れてきましたが、将来のことをあれこれ考える毎日です。今後は全く経験もないのですが、福祉関係の仕事に就きたいと思っています。パソコン(特にインターネット)や英検の勉強もしていくつもりです。

お近くの方でも、遠くの方でもお便り下さい。お待ちしております。※匿名の方には表記事務所より子へお送り下さい。転送します。

■アドバイス下さい

A・I (埼玉・31歳)

再婚を機に退会したのですが、再

び人会しました。お互い女の子を連れての再婚で、職や生活習慣の違いも歩み寄って話し合えば...と思っていたのですが、自分の考えだけを押し通し「嫌なら出て行け」という態度や子どもへの大人気ない態度に、離婚を考えるように。けれど8月に生まれてくる子どもを考えるとなかなか決心が付きません。調停や養育費など良いアドバイスがあったらお手紙下さい。また、近くの方、たまにお会いできれば嬉しいですよ。

■乳幼児のいる方お便り下さい

J・Y (兵庫・33歳)

1年前から夫と別居、実家の両親に1歳4か月の娘と世話になっています。虚言癖と浪費癖、多額の借金のある夫とは1年足らずの同居期間でもトラブルの連続でした。

調停になっても夫は姿を見せず、母親が出てくる始末。やむなく裁判へ持ち込み、先日2度目を終えたところですが、夫の証言は作り話だらけ。その上、全く関心を寄せなかった娘の親権を突如主張し出す等、先行きは容易ではありませんが、何とか頑張っています。

別居前後には、精神のバランスを崩しかけたこともありましたが、

★ハンド夏合宿のお知らせ

恒例の夏合宿を行います。テーマは「母親の心理と子どもとの関わり方」(円より子)です。奮ってご応募下さい。

▼日程 8月22日、23日(土日)▼  
場所 国立婦人教育会館(埼玉県)▼  
定員 大人30名、幼児(学齢前) 10名▼  
参加費 大人4000円、幼児3000円。食費、交通費各自負担。▼  
申込 申込金1000円を添え、住所、電話番号、参加者氏名、生年月日、年齢を明記し、事務局橋本まで。8月1日必着。申込金は返却できません。

現在は穏やかな毎日です。同じ様な境遇で分かり合える友人がいたらと思うようになりました。乳幼児を抱え頑張っている方、ぜひお便り下さい。

■アジア人の夫との離婚に直面

Y・S (茨城・?歳)

バングラディッシュ人の夫と結婚して9年目、小学1年になる息子がいます。3年前実家の都合で、郷里の茨城に戻り、実家に同居し、夫婦で飲食店を始めました。お互い気の強い者同士、価値観に共有できるものが見い出せず、イライラ

が寡り夫の暴力はエスカレートするばかり。精神的にも肉体的にも追いつめられ、夫に出て行ってもいい、私は完全にお店から手を引く形になりました。幸い、再就職の機会に恵まれ、子どもを今のところ手元に置きながら、働くことができています。

離婚の意志は伝えてありますが、二人での話し合いでは暴力を振るわれるため、今は私の経済的基盤を整えることに、まず優先順位を置き、少しずつ情報収集しながら離婚の方向へ進みたいと考えているところです。

離婚へ向けて弁護士に相談できたらとやっと考えられる段階にたどり着きました。外国人の夫の離婚後の立場、査証の切り替え、子どもの親権、執着心が強く、暴力癖のある夫への話の持って行き方等々、アドバイス頂けたらと願っています。同じようにアジア人の夫との離婚問題に直面している方、経験された方、ぜひお便り下さい。

#### 世話係より

■ハンド愛知の会合のお知らせ

(愛知・?歳)

7月26日(日)午後1時半～4時

半に、朝日カルチャーセンター柳橋教室(名古屋市中村区名駅1-4-12 ガーデンビル6F)で愛知の会合を開きます。参加費1000円。詳細は世話係 まで。

■熊本の本世話係と会合のお知らせ

(熊本・?歳)

さんに今までやって頂いていましたが、今回から熊本の本世話係をさせて頂くことになりました。顔合わせも兼ねて8月9日(日)午後1時～会合を開きたいと思っています。熊本の方ぜひご参加下さい。詳細は まで。

■ハンド香川の定例会のお知らせ

(香川・47歳)

香川の定例会を開きます。円さんに高松に来て頂く話を進めています。近県の方もぜひご参加下さい。匿名参加も可能です。

▼日程 7月25日(土)午後2時～3時半 ▼会場 喫茶「シカ」綾歌郡国分寺町 ☎087-874-3850 申込は世話係 まで。

#### ★子どもの好きな女性募集★

キッズワールドは、首都圏を中心に30の地域で子どもとそのお母さんに利用頂いている託児学習施設チャイルドケアセンター(対象年齢は1～8歳の子ども)です。

▼職種 マネージャー・店長、英語と運動の先生、チャイルドケアの先生、各23～45歳まで ▼待遇 ①正社員月収17万円(社保付) ②パート時給850円、交通費別途支給、資格手当有り ▼勤務時間 ①平日9時～19時内 ②8時間シフト制 ③時間応相談 ▼勤務地 東京、神奈川 詳細はキッズワールド担当駒村 ☎03-3582-8076 (受付平日10時～17時) まで。

#### ★出版物紹介

ニコニコ離婚講座が200回を迎えたのを記念してハンドブック「21世紀ジェンダー・フリーの社会をめざして1979～1998家族の変遷」を発行しました。

円より子と金住典子弁護士との対談やハンド会員からの体験手記、離婚講座と家族・女性問題関係年表等を掲載。現代家族問題研究所発行。定価は500円ですが、今回特別にハンド会員の方には、送料込み500円でお分けします。希望の方は郵便局の郵便振替か、表記事務所まで500円分切手を同封の上、お申込下さい。

振込先 00140-6-120542 ハンド・イン・ハンドの会

#### 《お世話係》

- ★仙台
- ★福島
- ★北陸
- ★新潟
- ★埼玉
- ★群馬
- ★愛知
- ★滋賀
- ★大阪
- ★大阪
- ★神戸
- ★岡山
- ★広島
- ★香川
- ★四国
- ★福岡
- ★福岡
- ★熊本
- ★大分
- ★宮崎



# 第203回 ニコニコ離婚講座

〔7月〕会場の都合でお休みです。  
〔8月〕8月1日(土)午後1時～4時半。東京ウイメンズプラザ(青山子ども城裏)視聴覚室で。立松節子氏(ダイヤルサービス社「熟年110番」チーフ相談員)の「熟年夫婦の向き合い方」と金住典子弁護士「離婚の法律と手続き」。

参加費2000円  
お問合せは事務所向井、橋本まで。  
☎03-5512-1273(8)(事)  
☎03-3261-1835(留)

★東京の会合  
▼7月25日午後6時～9時東京ウイメンズプラザ視聴覚室Aで。

▼8月は夏合宿のためお休みです。

## 大阪のニコニコ離婚講座

〔7月〕都合によりお休みです。

〔8月〕8月1日(土)午後1時半～4時半、ドーンセンター(大阪

府立女性総合センター)で。中谷義子氏(大阪レイディス・ハローワーク所長)による「再就職の公的支援制度(特定求職者雇用開発助成金制度、職業訓練に対する給付等)について」を会員による経験談。  
〔9月〕9月12日(土)午後6時～9時、ドーンセンターで。講師は円より子氏。  
参加費1500円。

## ★大阪の例会

7月25日(土)午後1時～4時半、竹川幸子法律事務所で。  
☎06-1393-1331

竹川幸子法律事務所

## ★ハンド大阪の夏合宿

8月8日(土)、9日(日)の1泊2日で、ハンド大阪の夏合宿を三重県名張市赤目の森で行います。参加費は大人1万円、中学生8000円、小学生7000円、幼児5000円位の予定。参加申込

までFAXか葉書で。詳細は申込者に通知します。

## ★埼玉の会合

▼7月26日(日)午前11時～暑気払いを「ハイ・ハート」(東武東上

線朝霞台駅南口2分)で行います。食べて唄って楽しみましょう。会費は1500円位(昼食代込)。  
▼8月30日(日)、家で、ハンド182号の発送を。都合のつく方お手伝いお願いします。いずれも詳細は まで。

## ☆離婚一〇番

日時、番号をよく確認して下さい。

## 〔電話番号〕

☎03(3261)1835  
☎03(3261)1836

## 〔日時〕

▼第1、第3、第5土曜日の午後5時～8時▼第2、第4土曜日の午後2時～5時

## ★購読料について

次の3通りの方法があります。  
①1年間3600円(送料共)  
②2年間まとめて前払いの場合、7200円を6000円に。  
③出社払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出て下さい。期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

(振込先)各地の郵便局にて

001400161120542

ハンド・イン・ハンドの会

## ■事務局便り■

★毎日がまばたきをしている間に過ぎていってしまうような気がします。もうすぐ参議院選挙です。「わたしの一票」が大切なのだと思います。「どうせ私一人ぐらい」などと思わず、ぜひぜひ、投票に行きましょう! (橋本)

★梅雨に突入し、不快指数120%という感じでつい冷房をつけたまま寝てしまっています。先日友人が残ったエネルギーを有効に使う方法を勉強するため、大学に入り直しに米国へ帰りましたが、私も少し考えなくては。(向井)

★別居中の女性が職業訓練校に入る時の保証人がいなくて困っていると聞いて、なぜそんなものが必要なのかと思いつきながら何度か保証人になりました。国会議員になってから労働省に問いあわせても、そんなもの不要ですよと言われます。今回やっと、昭和37年の課長通達を受けて各地の訓練校が条件にしていたことが判明。大の大人が保証人などなくても入校できるよう改めさせました。(田)